

北海道善行賞を受賞して

延期のお知らせ
 毎年5月中旬に開催されていた北海道善行賞表彰式は、新型コロナウイルスの関係で延期になっています。

帯広市つくし会

梶 芳枝

この度、北海道善行賞受賞のお知らせを頂き、嬉しく又驚いております。

帯広市つくし会との縁は、産後の生活支援をお願いした事から始まりました。当時は、90代の実祖母、小学生の姉弟で暮らしていましたが、3人が末娘を育ててくれたといっても過言ではありません。今思えば、子育て、介護と毎日が忙しい日々でしたが、不思議と苦勞とは感じませんでした。子供達に寂しい思いをさせたかもしれないませんが充実した10年でした。昨年、長女は



家族旅行で10歳の末子とツーショット

共に暮らした祖母の百歳のお祝い



学校長賞(大学でいう首席)を頂き、長年の学生生活を終え、希望の職種に就く事が出来ました。長男は、大好きな野球を大学でも続けています。末娘は、いつも笑顔で皆に愛される10歳に育ってくれました。昨年末には、亡くなった両親の代わりに私の心の支えでもあった実祖母が大往生を遂げました。現在、私は資格を取り介護施設で正職員として働いています。コロナ禍でも仕事があるという事は有難い事です。

地域の方や子供達に関わってくれた方等多くの方のご支援・見守りで、今日の私達がある事を感謝し、これからも一日一日を大切に真摯に生活

していきたいと思っています。受賞、有難うございました。

江別市母子会(こぶし会)

前小屋 みゆき

この度、優良母子家庭として北海道善行賞を受賞し、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

母子会の会員となり10年以上経過し、保育園に通っていた子どもも受験生となりました。

入会当時、ワンオペ育児に疲れ、悩みも多く、特に年子の子ども連れでの外出はどこへ行くのも苦勞の連続でした。母子会の研修旅行はそんな私の楽しみのひとつでした。バスを貸し切って動物園や水族館、温泉にプールなど、親子で楽しめる場所へ毎年連れて行ってもらいました。みなさん優しく声をかけてくれたり、助けてくれたり、気軽に参加することができ、たくさん思い出でいっぱいです。私自身、よい気分転換になり、また明日から頑張ろうという気持ちになりました。現在、江別市母子会の理事として活動しています。母子家庭のお母さんは一人で頑張り過ぎたり、悩み

受賞の前小屋みゆきさん



6年前の母子研修旅行の帰り、疲れて眠る子ども達

を抱え込んだりしている方が多いかと思えます。同じような環境の方たちと話すことで気持ちが楽になったり、先が開けたり、よいきっかけになることもあると思いますので、誰もが少しでも楽しい毎日を過ごせるよう尽力していきたいです。ありがとうございます。

令和3年度共同募金助成金は、4ブロック研修会、広報紙発行に充当させていただきました。ご報告し、お礼を申し上げます。